

第38回社会福祉士・第28回精神保健福祉士 国家試験解答速報

『2026年2月2日現在』

共通科目

【医学概論】

問題	解答欄
1	3
2	2
3	5
4	2
5	4
6	3

【心理学と心理的支援】

問題	解答欄
7	3
8	4
9	3
10	2、5
11	5
12	5

【社会学と社会システム】

問題	解答欄
13	4
14	5
15	5
16	1、3
17	4
18	2

【社会福祉の原理と政策】

問題	解答欄
19	4
20	4
21	3
22	3、5
23	4
24	1、4
25	3、5
26	3
27	3、4

【社会保障】

問題	解答欄
28	4、5
29	4
30	2
31	4
32	2
33	3
34	3
35	5
36	4

【権利擁護を支える法制度】

問題	解答欄
37	3
38	5
39	5
40	5
41	1
42	5

【地域福祉と包括的支援体制】

問題	解答欄
43	1、2
44	5
45	5
46	5
47	2、3
48	3、5
49	5
50	2、4
51	1、3

【障害者福祉】

問題	解答欄
52	3
53	4
54	1、5
55	5
56	3、5
57	4

【刑事司法と福祉】

問題	解答欄
58	4
59	3
60	3
61	2、5
62	5
63	1、5

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。

問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

社会福祉士専門科目

【ソーシャルワークの基盤と専門職】

問題	解答欄
64	2、3
65	1、5
66	2
67	3
68	2、4
69	2、3

【高齢者福祉】

問題	解答欄
85	4
86	4
87	1、2
88	3
89	3
90	3

【ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)】

問題	解答欄
109	5
110	2、3
111	4、5
112	3、4
113	2
114	3、4

【ソーシャルワークの理論と方法】

問題	解答欄
70	2、5
71	1、2
72	3
73	4
74	3
75	1、2
76	5
77	3、5
78	4

【児童・家庭福祉】

問題	解答欄
91	1
92	3
93	2、3
94	3
95	2
96	2

【ソーシャルワークの理論と方法(専門)】

問題	解答欄
115	3、5
116	4
117	3、4
118	2、5
119	4
120	2、3
121	3、5
122	3、4
123	1、5

【社会福祉調査の基礎】

問題	解答欄
79	2
80	3、5
81	3
82	1、3
83	4、5
84	2

【貧困に対する支援】

問題	解答欄
97	5
98	4
99	2、4
100	4
101	2、4
102	2、5

【福祉サービスの組織と経営】

問題	解答欄
124	1、4
125	3、4
126	3
127	4
128	1
129	1、5

【保健医療と福祉】

問題	解答欄
103	1
104	4
105	1、2
106	3
107	1、4
108	4

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。

問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

精神保健福祉士専門科目

【精神医学と精神医療】

問題	解答欄
1	3
2	3、4
3	2
4	4
5	2
6	5
7	1
8	5
9	3

【精神保健福祉の原理】

問題	解答欄
19	1
20	2
21	2
22	3、4
23	3
24	5
25	4
26	1
27	2

【精神障害リハビリテーション論】

問題	解答欄
37	4
38	5
39	1
40	3
41	5
42	2

【精神保健福祉制度論】

問題	解答欄
43	4
44	3
45	2
46	1
47	1
48	5

【現代の精神保健の課題と支援】

問題	解答欄
10	3、4
11	1
12	3
13	4
14	2
15	5
16	2
17	1
18	5

【ソーシャルワークの理論と方法(専門)】

問題	解答欄
28	4
29	1
30	5
31	3
32	1、5
33	3
34	5
35	2
36	2

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。
問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

◆全体として

1) 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

第 37 回試験は難易度が大きく上がった年でしたが、第 38 回の共通科目は、それを上回るほど「解きづらい問題」が多かった印象です。新しく取り上げられた知識が増えただけでなく、頻出テーマであっても、選択肢の一部が細かい知識を問う内容になっていたり、表現が分かりにくく工夫されていたりして、判断に迷った受験生も多かったのではないのでしょうか。

もちろん、基本事項中心で比較的解きやすい問題もありました。しかし、例年と比べるとその割合は少なく、全体としては難しめの構成だったといえます。結果として、「易しい問題を確実に得点できたか」が、合否を分ける重要なポイントになったと考えられます。

難易度が高かった科目としては、「心理学と心理的支援」「社会学と社会システム」「社会福祉の原理と政策」「社会保障」「地域福祉の包括的支援体制」「ソーシャルワークの基盤と専門職」あたりが挙げられるでしょう。特に「地域福祉の包括的支援体制」は、簡単に解ける問題がほとんど見当たらず、新しい知識を問う設問も多かったため、十分に得点できなかった方が多かった可能性があります。

一方、比較的解きやすかった科目としては「ソーシャルワークの理論と方法」が挙げられます。対応を問う事例問題の中には、判断がしやすいものも多く、高得点を狙えた受験生もいたと思われます。また、「刑事司法と福祉」も基本事項が中心で、取りやすい問題が比較的多かった印象です。

今回の特徴として、事例問題が 28 問と、過去最多の出題数になりました。今後は知識だけでなく、文章を正確に読み取る「読解力」も、これまで以上に重要な要素になっていくでしょう。

また、五肢二択の形式が 27 問出題と、第 37 回（15 問）から大幅に増加しています。出題形式の変化は、時間配分や解き方にも影響を与えたはずで、内訳は「心理学と心理的支援」1 問、「社会学と社会システム」1 問、「社会福祉の原理と政策」4 問、「社会保障」1 問、「地域福祉と包括的支援体制」5 問、「障害者福祉」2 問、「刑事司法と福祉」2 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職」4 問、「ソーシャルワークの理論と方法」3 問、「社会福祉調査の基礎」3 問。

共通科目全体としては、難易度の高い問題が多く、高得点を狙うのは厳しい構成だったと考えられます。ただし、すべてが難問というわけではなく、参考書や過去問で対応できる問題も一定数あるため、「取れる問題を落とさない」ことが、最も重要であると思います。

2) 社会福祉士 専門科目

専門科目は全体として難易度が高く、テンポよく解き進めるのが難しかった方が多かったのではないのでしょうか。見慣れない用語や理論が登場したり、出題形式が変わっていたりして、手が止まった場面もあったと思います。加えて、昨年に続いて事例問題が多く出題されました。事例は状況を頭の中で具体的にイメージしながら読み解く必要があり、選択肢にも迷わせる要素が多かったため、集中力と読解力が強く求められる試験だったと言えます。

ただし、共通科目と同様に、基本事項を問う問題も一定数含まれていました。難しい問題に引っ張られ過ぎず、「確実に取れる問題を確実に取る」ことが、得点を安定させるうえで重要だったと思います。

難易度が特に高い科目は、「児童・家庭福祉」と「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」だったのではないのでしょうか。特に「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」の事例問題は、対応や判断に迷う選択肢が多く、明確に正答だと判断できるものが少なかった印象です。一方で、比較的取り組みやすかった科目としては、「高齢者福祉」「貧困に対する支援」「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」が挙げられます。基本事項で十分対応できる問題も多く、ここで得点を伸ばせた方もいたのではないのでしょうか。

また、五肢二択の問題は専門科目で 21 問出題され、第 37 回の 17 問から 4 問増えました。共通科目の 27 問と合わせると 48 問となり、全 129 問のうち 4 割弱を占めています。五肢二択は形式上、難易度が上がりやすく、得点を伸ばしにくい要因にもなります。内訳は「高齢者福祉」1 問、「児童・家庭福祉」1 問、「貧困に対する支援」3 問、「保健医療と福祉」2 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」4 問、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」7 問、「福祉サービスの組織と経営」3 問。

共通科目ほどではないにせよ、専門科目も難しい問題が多かったため、模擬試験などに比べて点数が伸びなかった方が多かったかもしれません。今後の学習では、まず基本事項を確実に固めたうえで、事例問題は焦らずに状況を整理し、選択肢を丁寧に読み比べる姿勢がより重要になってくるでしょう。

3) 精神保健福祉士 専門科目

今回の試験は、精神保健福祉士として求められる基礎知識と、現場を想定した実践的な判断力をバランスよく確認する内容だったといえます。全体として、奇をてらった出題や極端な難問は少なく、標準的で良質な問題構成でした。また、用語の丸暗記や細かな数値、例外規定を問う設問は控えめで、「その制度や支援は何のためにあるのか」、「この場面で専門職としてどう考えるか」といった、理解型・判断型の設問が多く見られました。

難易度が高かった科目としては、「精神保健福祉の原理」が挙げられるでしょう。やや細かい知識を求める問題に加え、実践的判断を問う問題も多く、解きづらさを感じた方は少なくなかったと思われます。

一方、それ以外の科目は比較的解きやすい問題が多く、特に「精神保健福祉制度論」は、基本事項を押さえていれば対応できる内容が中心でした。そのため、全問正解できた受験生も多かったのではないのでしょうか。

今回の試験は、見慣れない知識を問う問題が少なかったことも特徴です。基礎を大切に学び、制度や支援を「意味」で理解してきた方にとっては、安定して得点しやすい試験だったと考えられます。例年通り、参考書と過去問を軸に繰り返し学習してきた方は、しっかり得点できたはずです。

また、旧試験制度の頃から頻出である「精神保健福祉法」や「障害者総合支援法」に関する問題は、今回も複数出題されました。今後も継続して出題される可能性が高いため、過去の出題実績から試験傾向をつかみ、重点論点を整理しておくことは有効な対策になります。

出題形式について見ると、五肢二択は全部で4問でした。前回の6問から2問減少しており、近年は減少傾向が続いています。内訳は、「精神医学と精神医療」1問、「現代の精神保健の課題と支援」1問、「精神保健福祉の原理」1問、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」1問。

◆合格ライン

1) 社会福祉士

共通科目・専門科目ともに昨年以上に難易度が上がっていた印象です。今回の試験も合格率が60%程度になることが考えられますが、この難易度では試験を受けた人の60%が6割以上の点数を取れているとは考え難いです。そのため昨年同様、合格ラインを相当下げてくることが考えられます。このことを踏まえ、今回の合格ラインは、合格率が37回と同程度（56.3%）だった場合は58点になると予想します。

専門科目のみについても昨年以上に難易度が上がっていることを踏まえ、合格ラインは20点以上と予想します。

2) 精神保健福祉士

精神保健福祉士の専門科目は昨年と同程度のレベルであったが、共通科目の難易度が上がっているため、全体で6割以上（79点以上）得点できた方は少なかったのではないのでしょうか。合格ラインも27回試験よりも下がることが考えられるため、合格率が27回と同程度（70.7%）だった場合は68点になると予想します。

専門科目のみについては、今回問題を解いていて昨年よりは少し難しくしようとしていると感じることもありましたが、非常に解きやすい科目もあったので、結果的に昨年と同じ32点が合格ラインになるのではないかと予想します。

以下、科目別の傾向等を示す。

◆科目別出題傾向

1) 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

事例問題

共通科目では 28 問出題。前回の 37 回試験が 26 問だったので、さらに増加しました。事例問題が出題された科目は、「医学概論」3 問、「心理学と心理的支援」2 問、「社会学と社会システム」1 問、「社会保障」3 問、「権利擁護を支える法制度」3 問、「地域福祉と包括的支援体制」4 問、「障害者福祉」1 問、「刑事司法と福祉」3 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職」2 問、「ソーシャルワークの理論と方法」5 問、「社会福祉調査の基礎」1 問。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「医学概論」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
ライフステージにおける心身の変化と健康問題	問題 1	△
疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション	問題 2・問題 6	○・×
基幹系と臓器の役割	問題 3	×
リハビリテーションの概要と範囲	問題 4	○
公衆衛生の概要	問題 5	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 1 は乳幼児の発達に関する問題。
- ・問題 2 はがん患者に対する緩和ケアの事例問題。
- ・問題 3 はホルモンに関する問題。
- ・問題 4 はリハビリを行う専門職の事例問題。
- ・問題 5 は予防の概念に関する問題。
- ・問題 6 は心疾患に関する事例問題。

■「心理学と心理学的支援」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
学習・行動	問題 7	△
認知	問題 8	×
生涯発達	問題 9	○
健康生成論	問題 10	×
心理的支援の基本的技法	問題 11	△
心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要	問題 12	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 7 は学習に関する事例問題。
- ・問題 8 は確証バイアスに関する問題。
- ・問題 9 は乳幼児の言語発達に関する問題。
- ・問題 10 は首尾一貫感覚に関する問題。
- ・問題 11 は動機づけ面接に関する事例問題。
- ・問題 12 は応用行動分析（ABA）から出題。

■「社会学と社会システム」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会変動	問題 13	△
組織と集団	問題 14	△
人口	問題 15	△
社会政策と社会問題	問題 16	△
世代	問題 17	△
社会化	問題 18	×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 13 はデュルケムの自殺論に関する問題。
- ・問題 14 はNPO法人に関する問題。
- ・問題 15 は人口統計の用語に関する問題。
- ・問題 16 はエスピン - アンデルセンの福祉レジーム論に関する問題。
- ・問題 17 は生活に関する概念の問題。
- ・問題 18 は社会学の概念をテーマとした事例問題。

■「社会福祉の原理と政策」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
欧米の社会福祉の歴史的展開	問題 19	○
関連政策	問題 20・問題 26	△・×
現代における社会問題	問題 21	△
日本の社会福祉の歴史的展開	問題 22・問題 24	△・×
福祉政策の過程	問題 23	○
社会福祉の論点	問題 25	×
福祉政策の概念・理念	問題 27	×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 19 はイギリスのスピーナムランド制度に関する問題。
- ・問題 20 は男女参画白書に関する問題。
- ・問題 21 は孤独・孤立対策推進法に関する問題。
- ・問題 22 は自助・共助・公助をテーマとした日本の歴史を問う問題。
- ・問題 23 はプログラム評価に関する問題。
- ・問題 24 は1990年の「福祉関係八法改正」に関する問題。
- ・問題 25 は社会的包摂に関する問題。
- ・問題 26 は労働者協同組合法に関する問題。
- ・問題 27 は国際人権規約に関する問題。

■「社会保障」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
社会保障制度の歴史	問題 28	△
社会保障給付費	問題 29	△
社会保障制度の体系	問題 30・問題 33・問題 36	○・△・×
労災保険制度と雇用保険制度の概要	問題 31・問題 35	○・×
医療保険制度の概要	問題 32	△
年金保険制度の概要	問題 34	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 28 は「社会保障と税の一体改革」に関する問題。
- ・問題 29 は社会保障給付費に関する問題。
- ・問題 30 は社会保険の保険料に関する問題。
- ・問題 31 は労災保険と雇用保険の適用に関する問題。
- ・問題 32 は医療保険の給付に関する問題。
- ・問題 33 は社会保険の保険料に関する事例問題。
- ・問題 34 は年金制度の改正を問う問題。
- ・問題 35 は労災保険と雇用保険の給付等に関する事例問題。
- ・問題 36 は家族に適用される社会保険制度の事例問題。

■「権利擁護を支える法制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
民法	問題 37・問題 38	×・○
行政法	問題 39	△
任意後見の概要	問題 40	△
成年後見制度の最近の動向	問題 41	○
日常生活自立支援事業	問題 42	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 37 は民法の婚姻に関する問題。
- ・問題 38 は民法の不法行為に関する事例問題。
- ・問題 39 は行政行為に関する問題。
- ・問題 40 は任意後見制度に関する事例問題。
- ・問題 41 は「成年後見関係事件の概況」から出題。
- ・問題 42 は日常生活自立支援事業に関する事例問題。

■「地域福祉と包括的支援体制」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
地域福祉の歴史	問題 43	×
地域福祉の動向	問題 44	×
地域社会の概念	問題 45	×
多様化・複雑化した 地域生活課題の現状とニーズ	問題 46・問題 49	×・△
非常時や災害時における総合的 かつ包括的な支援	問題 47	×
生活困窮者自立支援の考え方	問題 48	△
多機関協働を促進する仕組み	問題 50	△
多職種連携	問題 51	×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 43 はセツルメントに関する問題。
- ・ 問題 44 は地域福祉の動向から出題。
- ・ 問題 45 は地域社会の概念に関する問題。
- ・ 問題 46 は日本における外国人を取り巻く制度や動向に関する事例問題。
- ・ 問題 47 は災害時の支援と重層的支援体制整備事業に関する事例問題。
- ・ 問題 48 は生活困窮者自立支援法に関する問題。
- ・ 問題 49 は地域福祉における支援・配慮を要する者に関する問題。
- ・ 問題 50 は多機関協働に関する事例問題。
- ・ 問題 51 は多職種連携に関する事例問題。

■「障害者福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
障害者福祉の理念	問題 52	○
障害者福祉制度の発展過程	問題 53	△
障害者と家族等の支援における 関係機関の役割	問題 54・問題 57	×・○
障害者虐待防止法	問題 55	○
障害者と家族等に対する支援の 実際	問題 56	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 52 は障害者福祉の理念に関する問題。
- ・ 問題 53 は障害者施策の展開についての問題。
- ・ 問題 54 は医療的ケア児支援法に関する問題。
- ・ 問題 55 は障害者虐待防止法に関する問題。
- ・ 問題 56 は視覚障害者に対する合理的配慮に関する問題。
- ・ 問題 57 は就労支援を行う機関をテーマとした事例問題。

■「刑事司法と福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
刑法	問題 58	△
少年事件の手続き、処遇	問題 59	△
生活環境の調整	問題 60	△
団体・専門職等の役割と連携	問題 61	○
医療観察制度の概要	問題 62	○
犯罪被害者支援に関する制度	問題 63	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 58 は刑法に基づく刑罰に関する問題。
- ・ 問題 59 は少年事件の手続きに関する事例問題。
- ・ 問題 60 は更生保護制度の生活環境の調整に関する事例問題。
- ・ 問題 61 は更生保護に関わる団体や専門職等に関する問題。
- ・ 問題 62 は医療観察制度から出題。
- ・ 問題 63 は犯罪被害者が利用できる制度に関する事例問題。

■「ソーシャルワークの基盤と専門職」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉士及び介護福祉士法	問題 64・問題 65	○・△
ソーシャルワークの 援助関係の意義	問題 66	△
ソーシャルワークの形成過程	問題 67	×
ソーシャルワークの理念	問題 68・問題 69	○・×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 64 は社会福祉士及び介護福祉士法の社会福祉士の義務等の規定に関する問題。
- ・ 問題 65 は社会福祉士及び介護福祉士法の法制度成立の背景に関する問題。
- ・ 問題 66 はソーシャルワークのアプローチに関する事例問題。
- ・ 問題 67 は多文化ソーシャルワークについての問題。
- ・ 問題 68 は自立支援を踏まえた対応に関する事例問題。
- ・ 問題 69 は「性的志向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」についての問題。

■「ソーシャルワークの理論と方法」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
アセスメント	問題 70	△
記録の方法と実際	問題 71・問題 72	△・○
支援の実施	問題 73・問題 75	○・○
セルフヘルプグループ	問題 74	○
システム理論	問題 76	○
ソーシャルワークの様々な実践 モデルとアプローチ	問題 77	△
モニタリング	問題 78	○

- ・ 問題 70 は再アセスメントに関する事例問題。
- ・ 問題 71 はエコマップに関する問題。
- ・ 問題 72 は記録の形式に関する事例問題。
- ・ 問題 73 は施設での支援を問う事例問題。
- ・ 問題 74 はセルフヘルプグループに関する問題。
- ・ 問題 75 は状況に基づく支援の事例問題。
- ・ 問題 76 はソーシャルワーク実践における 4 つのシステムに関する問題。
- ・ 問題 77 は生活モデルに関する問題。
- ・ 問題 78 はモニタリングに関する事例問題。

■「社会福祉調査の基礎」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉調査における倫理	問題 79	○
量的調査の種類と方法	問題 80	△
質問紙の作成方法と留意点	問題 81	○
統計法	問題 82	△
質的調査のデータの分析方法	問題 83	×
ソーシャルワークにおける 評価方法	問題 84	○

- ・ 問題 79 は社会福祉調査における倫理に関する事例問題。
- ・ 問題 80 は量的調査の方法に関する問題。
- ・ 問題 81 は質問紙の選択肢に関する事例問題。
- ・ 問題 82 は統計法に関する問題。
- ・ 問題 83 はインタビューデータの整理と分析方法に関する問題。
- ・ 問題 84 はソーシャルワークにおける評価・分析に関する事例問題。

2) 社会福祉士専門科目

事例問題

専門科目では 21 問出題。37 回試験は 23 問だったので、2 問減少した。共通科目も含めると 49 問が事例問題であり、今後も多く出題されてくるでしょう。事例問題が出題された科目は、「高齢者福祉」3 問、「児童・家庭福祉」3 問、「貧困に対する支援」3 問、「保健医療と福祉」2 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」3 問、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」6 問、「福祉サービスの組織と経営」1 問。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「高齢者福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
高齢者と家族等に対する支援の実際	問題 85・問題 90	○・○
高齢者の生活実態	問題 86	△
高年齢者雇用安定法	問題 87	○
関連する専門職等の役割	問題 88	○
介護保険法	問題 89	△

- ・ 問題 85 は認知症高齢者についての事例問題。
- ・ 問題 86 は高齢者の生活実態を問う統計の問題。
- ・ 問題 87 は高年齢者雇用安定法に関する問題。
- ・ 問題 88 は介護保険に関わる専門職についての問題。
- ・ 問題 89 は介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業に関する事例問題。
- ・ 問題 90 は意思決定支援のガイドラインに基づく対応を問う事例問題。

■「児童・家庭福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
児童福祉法	問題 91	○
支援の実際	問題 92・問題 93	△・×
関連する専門職等の役割	問題 94	△
児童の権利	問題 95	×
子ども・子育て支援法	問題 96	×

- ・ 問題 91 は児童福祉法に基づく一時保護に関する問題。
- ・ 問題 92 は外国籍の家庭に対する対応を問う事例問題。
- ・ 問題 93 は母親に対する家庭支援専門相談員の対応を問う事例問題。
- ・ 問題 94 はスクールソーシャルワーカーに関する問題。
- ・ 問題 95 は ILO「条約 182 号」と「世界子供白書」に関する事例問題。
- ・ 問題 96 は保育所に関する問題。

■「貧困に対する支援」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
貧困に対する制度の発展過程	問題 97	△
貧困に対する支援の実際	問題 98・問題 101・問題 102	○・○・○
生活困窮者自立支援法	問題 99	○
低所得者対策	問題 100	×

- ・問題 97 は貧困問題に対する制度に関する問題。
- ・問題 98 は被保護者に対する就労支援の事例問題。
- ・問題 99 は 2024 年の生活困窮者自立支援法改正をテーマとした問題。
- ・問題 100 は生活福祉資金貸付制度に関する問題。
- ・問題 101 はホームレス状態の方の支援に関する事例問題。
- ・問題 102 は生活困窮者自立相談支援機関の対応を問う問題。

■「保健医療と福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
疾病構造の変化	問題 103	×
保健医療対策の概要	問題 104	△
社会福祉士の役割	問題 105・問題 107	○・○
倫理的課題	問題 106	×
診療報酬制度の概要	問題 108	△

- ・問題 103 は悪性新生物の動向についての問題。
- ・問題 104 は保健所及び市町村保健センターに関する問題。
- ・問題 105 は医療ソーシャルワーカーの対応を問う事例問題。
- ・問題 106 は「臓器の移植に関する法律」に関する問題。
- ・問題 107 は医療ソーシャルワーカーの対応を問う事例問題。
- ・問題 108 は診療報酬制度の支払い方式に関する問題。

■「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
ソーシャルワーク専門職の概念と範囲	問題 109	△
福祉行政等における専門職	問題 110	○
ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク	問題 111	○
民間の施設・組織における専門職	問題 112・問題 113	○・△
ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容	問題 114	△

- ・問題 109 はバートレットのソーシャルワークについての問題。
- ・問題 110 は福祉行政の専門職をテーマとした事例問題。
- ・問題 111 はソーシャルワークの介入レベルに関する問題。
- ・問題 112 は医療ソーシャルワーカーの判断を問う事例問題。
- ・問題 113 は生活支援員の家族システムを意図して行った支援に関する事例問題。
- ・問題 114 はジェネラリストソーシャルワークに関する問題。

■「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
援助関係の形成方法	問題 115	△
社会資源の活用・調整・開発	問題 116・問題 118	△・△
家族支援の実際	問題 117・問題 119	×
アセスメント（共通科目）	問題 119	△
地域支援の実際	問題 120	○
非常時や災害時支援の実際	問題 121	△
ソーシャルワークの様々な実践 モデルとアプローチ （共通科目）	問題 122	△
アウトリーチ	問題 123	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 115 はソーシャルワークの契約に関する問題。
- ・ 問題 116 は地域福祉課題への対応に関する事例問題。
- ・ 問題 117 は単一事例実験計画法に関する事例問題。
- ・ 問題 118 はクライアントニーズへの対応を問う事例問題。
- ・ 問題 119 はシステム論に基づくアセスメントに関する問題。
- ・ 問題 120 は地域課題の解決策に関する事例問題。
- ・ 問題 121 は災害時支援に関する事例問題。
- ・ 問題 122 はソーシャルワークのアプローチに関する問題。
- ・ 問題 123 はアウトリーチに関する問題。

■「福祉サービスの組織と経営」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
福祉サービスを提供する組織	問題 124	○
組織運営に関する基礎理論	問題 125	△
適切な福祉サービスの管理	問題 126	○
会計管理と財務管理	問題 127	×
経営体制	問題 128	×
福祉人材マネジメント	問題 129	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 124 は法人の設立に関する問題。
- ・ 問題 125 は組織論に関する事例問題。
- ・ 問題 126 は心理的安全が確保されているサービス提供組織の特徴を問う問題。
- ・ 問題 127 は社会福祉法人の承認プロセスに関する問題。
- ・ 問題 128 は福祉サービスの経営に関する理論の問題。
- ・ 問題 129 は人材育成や評価に関する問題。

3) 精神保健福祉士専門科目

事例問題

18 問出題。そのうち 3 問構成の長文の事例問題は、昨年同様 4 題出題されていました。この構成は、おそらく今後も変わらないでしょう。長文の事例問題は今回も文章量が多く、集中力が必要になるので、これから受験される方は過去問等の実際の問題を何度も解いて慣れておくことが大切です。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「精神医学と精神医療」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神現象の生物学的基礎	問題 1	○
精神疾患の診断分類	問題 2	△
代表的な疾患と その症状、経過、予後	問題 3	○
精神障害の概念	問題 4	○
薬物療法	問題 5	○
精神療法	問題 6	○
精神疾患患者の動向	問題 7	△
入院治療と人権擁護	問題 8	○
外来治療、在宅医療	問題 9	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 1 は大脳の記憶に関する中枢の問題。
- ・ 問題 2 は精神疾患の成因（外因性）から出題。
- ・ 問題 3 は薬物依存症者の状態を問う事例問題。
- ・ 問題 4 は全生活史健忘に関する問題。
- ・ 問題 5 は向精神薬からの事例問題。
- ・ 問題 6 は精神療法からの出題。
- ・ 問題 7 は患者調査から出題。
- ・ 問題 8 は精神保健福祉法の入院制度から出題。
- ・ 問題 9 は精神科訪問看護に関する問題。

■「現代の精神保健の課題と支援」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神保健の動向	問題 10	○
精神の健康に関する心的態度	問題 11	△
産業精神保健とその対策	問題 12	○
L G B T と精神保健	問題 13	○
精神保健の予防の考え方	問題 14・問題 16	○・○
アルコール関連問題に 対する対策	問題 15	△
地域精神保健に係わる行政機関 の役割及び連携	問題 17	○
WHOなどの国際機関の活動	問題 18	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 10 は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」から出題。
- ・問題 11 は 4 段階の危機モデルを提唱した人物を問う問題。
- ・問題 12 は職場でのメンタルヘルスケアに関する事例問題。
- ・問題 13 は性の多様性に関する問題。
- ・問題 14 は予防の概念から出題。
- ・問題 15 はアルコール問題の家族相談に関する事例問題。
- ・問題 16 は精神保健に関する用語を問う問題。
- ・問題 17 は精神保健福祉行政の役割に関する問題。
- ・問題 18 はWHOのメンタルヘルス・ギャップ・アクション・プログラムから出題。

■「精神保健福祉の原理」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
原理・価値	問題 19・問題 26	○・△
制度における 「精神障害者」の定義	問題 20	○
諸外国の動向	問題 21・問題 22	△・△
観点・視点	問題 23・問題 25・問題 27	×・△・△
関係性	問題 24	×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 19 は精神障害者の権利擁護に関する事例問題。
- ・問題 20 は精神保健福祉法の精神障害者の定義から出題。
- ・問題 21 精神保健福祉の海外の歴史から出題。
- ・問題 22 は「障害者権利条約」に関する問題。
- ・問題 23 はリカバリーに関する人物を問う問題。
- ・問題 24 は援助関係から出題。
- ・問題 25 は偏見に関する問題（長文事例）。
- ・問題 26 は当事者主体に関する問題（長文事例）。
- ・問題 27 は精神疾患を正しく理解するための根拠とするものに関する問題（長文事例）。

■「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
ソーシャルワークの構成要素	問題 28	△
面接技術とその応用	問題 29	○
家族理解の変遷	問題 30	○
チームビルディング	問題 31	○
地域における 精神保健福祉の向上	問題 32	△
個別支援から地域における 体制整備	問題 33	△
グループワークの展開過程 （共通科目）	問題 34	○
援助関係の形成方法	問題 35	○
スーパービジョンの意義、目 的、方法（共通科目）	問題 36	○

- ・ 問題 28 はソーシャルワークにおける「価値」に関する問題。
- ・ 問題 29 は初回面接時の関わり方に関する問題。
- ・ 問題 30 はジャクソンの 7 段階説から出題。
- ・ 問題 31 はチームビルディングから出題。
- ・ 問題 32 はコミュニティワークからの出題。
- ・ 問題 33 は地域における協議会の活動に関する事例問題。
- ・ 問題 34 はグループワークの展開過程から出題（長文事例）。
- ・ 問題 35 はクライアントとの関係づくりに関する問題（長文事例）。
- ・ 問題 36 はスーパービジョンから出題（長文事例）。

■「精神障害リハビリテーション論」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神障害リハビリテーションの プロセス	問題 37	○
職業リハビリテーション プログラム	問題 38	△
医学的リハビリテーション プログラム	問題 39	○
精神障害リハビリテーションに おける精神保健福祉士の役割	問題 40	○
社会リハビリテーション プログラム	問題 41	○
精神障害当事者や家族を主体と したリハビリテーション	問題 42	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 37 は精神障害リハビリテーションのプロセスから出題。
- ・ 問題 38 は I P S に関する問題。
- ・ 問題 39 は動機づけを強化するための方法に関する事例問題。
- ・ 問題 40 はキャンパスソーシャルワーカーの役割に関する問題（長文事例）。
- ・ 問題 41 は心理教育プログラムに関する問題（長文事例）。
- ・ 問題 42 は当事者の活動に関する問題（長文事例）。

■「精神保健福祉制度論」

出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神保健福祉法の概要と 精神保健福祉士の役割	問題 43・問題 46	○・○
居住支援制度と 精神保健福祉士の役割	問題 44・問題 48	○・○
精神障害者の経済的支援制度に 関する課題	問題 45	○
精神障害者の生活支援制度に 関する課題	問題 47	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 43 は精神保健福祉法の精神医療審査会に関する問題。
- ・問題 44 は障害者総合支援法の宿泊型自立訓練に関する問題。
- ・問題 45 は障害基礎年金から出題。
- ・問題 46 は精神保健福祉法の入院制度から出題（長文事例）。
- ・問題 47 は障害者総合支援法の相談支援から出題（長文事例）。
- ・問題 48 は障害者総合支援法の居住支援サービスに関する問題（長文事例）。



ふくし合格
ネット